

# 環境報告書 2019



# 目次

トップメッセージ	2
会社概要	3
製品紹介	3
環境方針	4
事業活動に伴う環境負荷	5
2018年度目標と活動実績	6
省エネルギー化の取り組み	7
リサイクル化の取り組み	7
グリーン調達への取り組み	8
環境教育への取り組み	8
地域貢献活動	9
クリーン作戦	9
イルミネーション	9
わくわく体験塾	10
仲道郁代氏ピアノリサイタル	10
学術支援活動	11
今後の取り組み	11
環境会計	12
お問い合わせ先	13

## ◆ トップメッセージ



ユニオンツール株式会社

代表取締役会長 **片山 貴雄**

代表取締役社長 **大平 博**

ユニオンツールは産業用切削工具の製造・販売をする企業です。中でも電子回路基板に貫通穴をあけるための専用工具であるPCBドリルを主力製品として取り扱っております。また、穴をあけるPCBドリルに対し側面にも刃を持ち、金型や精密部品の加工に使用される超硬エンドミルについても、当社のコーティング膜を施す等、世界の高品質需要に貢献するよう、力を注ぎ送り出しております。

半世紀にわたる企業活動の中でPCBドリルのトップメーカとして実績を重ね、皆様の厚いご信頼をいただけるに至りました。

さて、近年世の中では歴史的な出来事が立て続けに起こっており、企業を取り巻く状況は日々変化し、予断を許しません。これは環境に関することも例外ではなく、法規制は年々厳しい方へ向かうと同時に、国内外問わずお客さまからの要求も高まる一方です。時に省エネルギー化やグリーン調達等、環境に関する取り組みは生産活動や品質向上と相反する一面があります。しかし当社では、環境への取り組みを製造メーカの当然の責務であるとともに、企業活動の本来業務、メリットであると理解し、工場を中心に環境マネジメントシステムを活用しながら継続的改善に取り組んでおります。

混迷を極める時代であればこそ、当社は「優れた製品を供給し社会に貢献する」という経営理念、また「自然を愛し、人を愛する企業活動を通じて、豊かな地球環境づくりに貢献する」という環境方針を念頭に置き、行動すべきであると考えております。蓄積してきたノウハウをもとに行われている製品開発、現地生産・販売のメリット享受を目指した生産拠点の能力増強及び販売体制の強化。このような「研究開発」、「製造販売」、「市場開拓」といった本業に傾注する中で環境への貢献も合わせ、会社の地盤をしっかりと固め、来るべき産業界の飛躍的な発展に少しでも寄与できるよう努めたいと存じます。

今後も、社員一人ひとりが常に前を向き、最高のパフォーマンスを発揮できるよう日々精進してまいります。

本環境報告書も今年で19年目となります。この「環境報告書」を通じて弊社の取り組みをご理解頂くとともに、これからも皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 会社概要

会社名：ユニオンツール株式会社  
 本社：東京都品川区南大井 6-17-1  
 資本金：29 億 9850 万円  
 決算日：12 月 31 日  
 従業員数：813 名（2018 年 12 月末現在）

グループ全体：1,508 名

工場：長岡工場（新潟県長岡市）  
 見附工場（新潟県見附市）

研究所：三島研究所（静岡県駿東郡）

営業所：長岡営業所  
 大阪営業所  
 名古屋営業所  
 安城営業所  
 北関東営業所

ISO14001：長岡工場（2000 年 3 月に認証取得）  
 見附工場（2007 年 8 月に取得範囲拡大）

### 主要な事業内容

- 切削工具事業  
 プリント配線板用超硬ドリル（PCB ドリル）  
 超硬エンドミル
- その他事業  
 直線運動軸受、転造ダイス、転造関連製品、  
 専用機、測定機器、生体センサ関連

## ◆ 製品紹介

独自の超精密加工機械が生み出す高品質ドリル、走行精度・剛性・寿命が飛躍的にアップした直線運動ローラー軸受等高い技術力でより優れた製品をお届けしています。



PCB ドリル



転造ダイス



超硬エンドミル



デジタル測定器

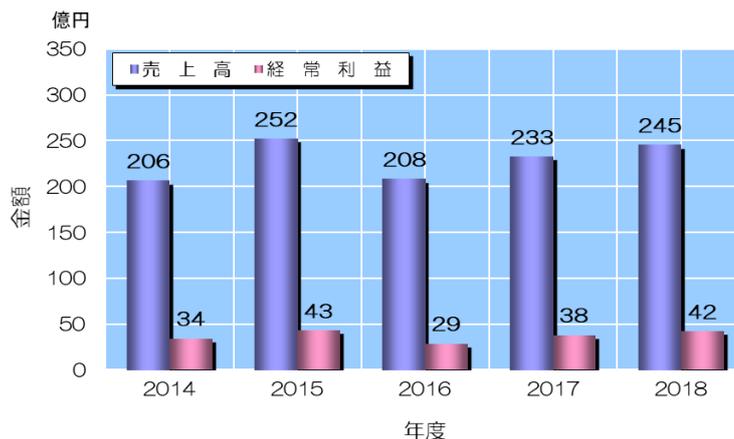


直線運動ローラー軸受



生体センサ関連

## ◆ 売上高・経常利益の推移（連結）



(注) 2015 年は決算期変更の経過期間であり、13 か月決算となっております。

### 関連子会社：

- 台湾佑能工具股份有限公司
- UNION TOOL EUROPE S.A
- U.S. UNION TOOL, INC.
- 佑能工具(上海)有限公司 ☆ISO14001 取得
- 優能工具(上海)有限公司
- UNION TOOL HONG KONG LTD.
- UNION TOOL SINGAPORE LTD.
- 東莞佑能工具有限公司 ☆ISO14001 取得
- UNION TOOL (THAILAND) CO.,LTD.



## ユニオンツール(株)

### 環境方針

#### 基本理念

自然を愛し、人を愛する企業活動を通じて、豊かな地球環境づくりに貢献する。

#### 基本方針

当社長岡工場及び見附工場（以下当社工場という）は、ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、以下の方針に基づく環境保全活動を行うことにより、地域及び地球環境と企業活動の調和に努める。

1. 当社工場の活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で目的、目標を定めて環境保全活動を実施する。
2. 環境目的、目標を定期的に見直すことにより環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図る。
3. 環境関連法規、条例及び当社工場が同意するその他利害関係者からの要求事項を順守し、更に可能な範囲で自主基準を定め、環境汚染の予防に努める。
4. 当社工場の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の中で、次の項目を重要テーマとして取り組む。
  - 1) 省エネルギー化の推進
  - 2) グリーン調達への推進
  - 3) リサイクル化の推進
  - 4) 省資源化の推進
5. 環境方針は、環境マネジメントシステムにより実施、維持すると共に経営者が当社工場で働く全ての人に周知徹底する。
6. 環境方針は、社外に公開する。

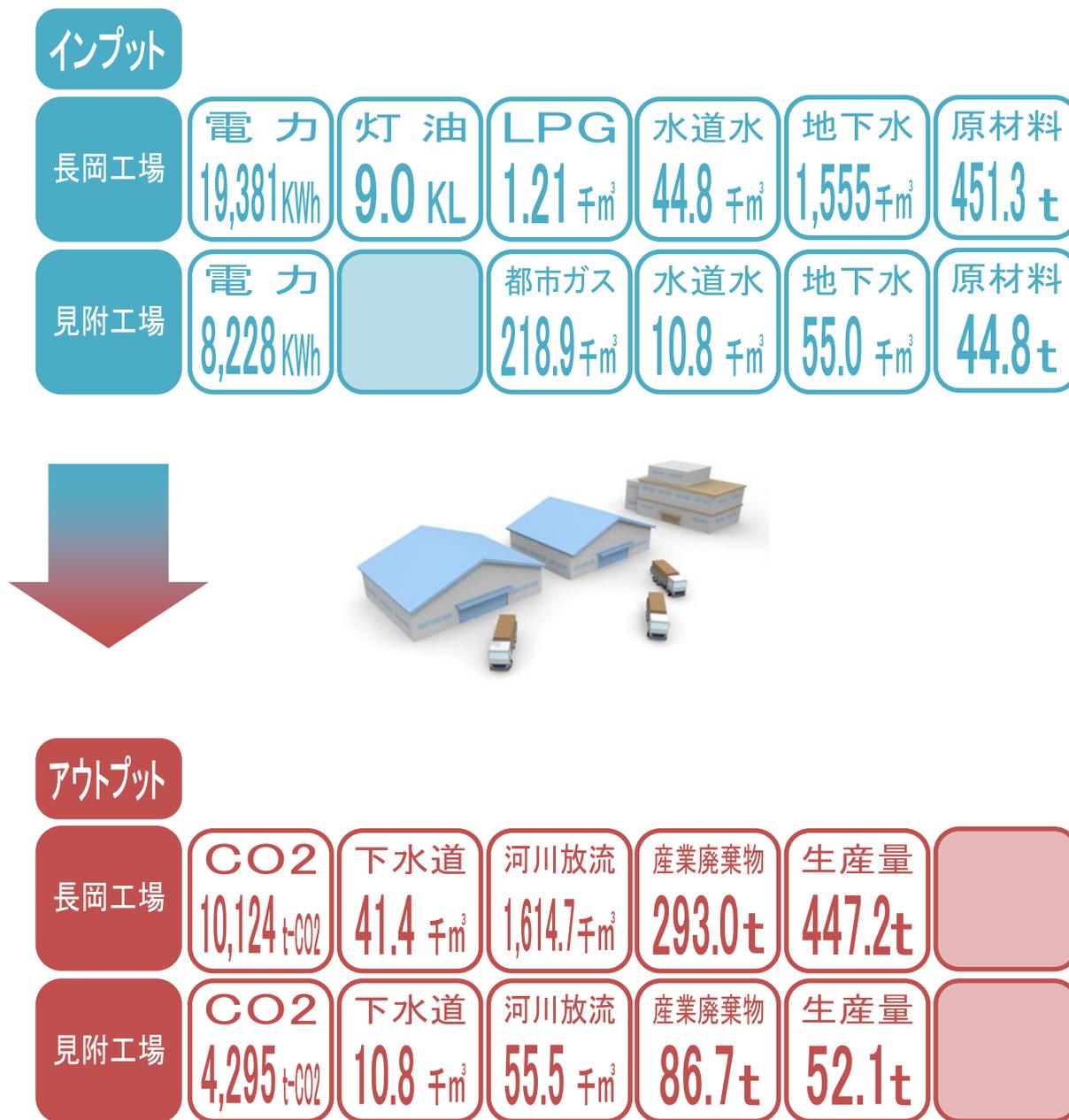
2014年 2月 25日  
代表取締役社長 大平 博



## ◆ 事業活動に伴う環境負荷

当社では、事業活動に伴って発生する環境負荷をインプット～アウトプットにわたって把握・監視することにより、効果的な環境負荷低減活動が行えるよう努めております。

インプットの中で注目されるエネルギーの使用量に関しては、特にCO<sub>2</sub>の排出割合が全体の9割以上を占める電力について重点を置き、積極的に省エネ活動を行うことによりCO<sub>2</sub>排出量の削減を進めております。



☆各数値の集計期間は2018.1～2018.12となっております。

※1 CO<sub>2</sub>排出量：「エネルギー使用の合理化等に関する法律施行規則」に基づき換算  
平成31年度定期報告による。

※2 産業廃棄物量：「産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について」  
(環産産発基 061227006 号)

## ◆ 2018 年度目標と活動実績

2018 年度は環境方針の重要テーマである省エネルギー化、リサイクル化、省資源化に基づき、目標を立て活動を行いました。

省エネルギー化については、前年度の使用量の 1%削減を目標として取り組みを進め、長岡工場、見附工場共に目標を達成することができました。

リサイクル化については、製品ケースの再使用を推進しております。周囲の状況の変化に伴った効率化・採算性を考慮した形で取り組みの手法を検討しながら実施しております。

省資源化については、製造設備の開発により新たな省資源工具・長寿命工具の開発・改良を進め、より多くのお客さまより認めていただける製品となるよう追求しております。

### 2018 年度目標と活動実績

項目	推進内容	2018 年度目標	2018 年度実績	評価	頁
省エネルギー化	2019 年度までに 単位生産電力使用量 (※1) を 2014 年度比 5%削減 【長岡工場】	2017 年度電力使用量の 1%削減	2017 年度電力使用量の 3.87%削減	◎	7
	2019 年度までに 単位生産エネルギー使用量 (※2) を 2014 年度比 5%削減 【見附工場】	2017 年度エネルギー使用量の 1%削減	2017 年度エネルギー使用量の 1.54%削減	○	7
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	ドリルケース回収量の 調査及び管理	外注委託開始後、回収目標に 対して 104%	○	7
	エンドミルケース再使用の推進	エンドミルケース回収量の 調査及び管理	回収量・回収状況の把握 目標値に対して 71%回収	△	-
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 3 件	長寿命工具の開発 3 件	○	-
		工具用膜の開発 2 件	工具用膜の開発 2 件	○	-

【評価】 ◎：目標を大幅に達成 ○：目標を達成 △：目標をほぼ達成 ×：目標未達成

※1：「単位生産電力使用量 (kWh/千本)」＝「電力使用量 (kWh)」÷「切削工具の生産本数 (千本)」

※2：「単位生産エネルギー使用量 (kL/千本)」＝「原油換算エネルギー使用量 (kL)」÷「切削工具の生産本数 (千本)」

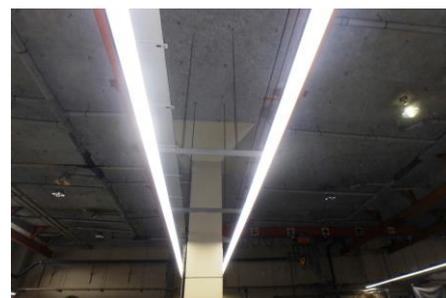
## ◆ 省エネルギー化の取り組み

2018年度は各工場とも「2017年度電力（エネルギー）使用量の1%削減」を目標に設定し、省エネ活動に取り組んできました。長岡工場では対策により2017年度使用量の3.87%に値する電力量を削減、見附工場でも1.54%に値するエネルギー量を削減し、ともに目標を達成することができました。

工場付帯設備としては2014年から照明のLED化を開始しており、長岡工場では2020年の完了に向けて各フロアの優先度を見極めながら、計画的に取り組んでいます。

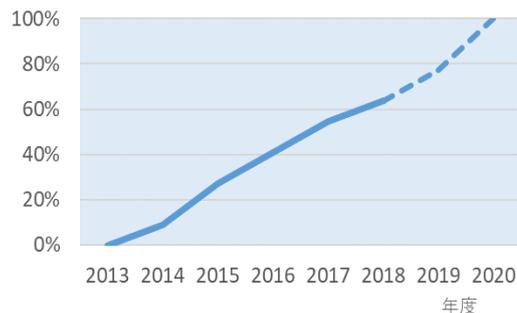
また、2018年度は製造メーカとして常に課題となる、生産性の向上や不要在庫の作りこみ削減について、生産管理部門と製造現場との連携を密にする集中管理の推進に取り組み、省エネルギー化にも繋げています。

今後も幅広い視野のもと、効率の良い生産活動が継続して行えるよう努めていきます。



▲LED照明に変更

### LED照明交換計画



## ◆ リサイクル化の取り組み

長岡工場内で実施してきたドリルケース回収・リサイクル業務において2016年大きな転機を迎えました。

資源を最大限に有効活用するためできるだけ多くのケースを再生することが継続的な取り組みであり課題でした。営業部門や製品管理部門の積極的な活動により、ケースの回収量を増やし一定の再生率を維持してきましたが、工具の出荷本数が増加傾向にあり今まで以上にケースの回収量を増やすことが急務となりました。

更に回収したドリルケースの保管場所確保やリサイクル業務の取り組みそのものが年々環境活動の中で重要な役割となってきて、より専門的な活動として位置付ける必要があるものになってきました。



▲ドリルケース

これらを踏まえてリサイクル業務の見直しを図った結果、ドリルケースの回収・リサイクル業務を一括で委託できる業者と業務提携することになりました。

2018年度、業務委託開始後も外部業者の状況を把握した上で、回収数の目標立てを行い、リサイクル業務の推進に努めており、目標値を上回ることができました。

ドリルケースの再生はこれからも続けていきますが、より多くライフサイクルを重ねていくためにも、お客さまからできるだけケースをきれいな状態でご使用していただくよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ◆ グリーン調達取り組み

地球環境保全と環境負荷低減に配慮した製品をお客さまに提供していくためには、環境に配慮した材料・部品等を積極的に採用していく必要があります。

当社では欧州の RoHS 指令をはじめ、世界的に拡大していく化学物質関連の法規制に対応し、お客さまが安心して使用できる製品を提供できるよう、グリーン調達ガイドラインを定め、それに基づく調達活動を行っております。

また、製品の有害物質情報について技術設計部門や資材購入担当部門、調達先が連携して、切削工具と直線運動軸受の全材料、部品、梱包材等における環境関連有害物質の含有状況を調査し明確にしております。



今後も製造から使用、そして廃棄まで、製品のライフサイクル全体を通じてより環境への負荷が少ない物づくりを目指してまいります。

皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ◆ 環境教育の取り組み

当社工場では環境統括部署が主体となり、環境に関する意識高揚と知識の習得を目的として社員に継続的に教育を行っています。

教育体系は目的に合わせて4つあり、入社直後の「新入社員教育」に始まり、毎月さまざまなテーマで実施される「一般教育」、事業活動に関連するテーマを掘り下げる「基礎教育」、更なる専門性へと導く「専門教育」と、内容もレベルアップしながら教育を体系的に進めています。

これらの環境教育は、“自然を愛し、人を愛し、仕事を愛する”という社風を守り続ける人材の育成につながっています。

### 専門教育

著しい環境影響の原因となる作業の作業者を対象とし、当該作業に関わる法令及び技術的な知識に関する教育。

### 基礎教育

主に事業活動に関係する環境問題、法令等の知識の基礎について、関係する作業に携わる社員に対して行う教育。

### 一般教育

環境統括部署が毎月テーマを決めて、全ての部署の代表者に対して行う教育。テーマには安全衛生等の内容も含む。

### 新入社員教育

新入社員に対し、ユニオンツールの環境に対する考え方や行っている活動、社員としての環境への関わり方の教育。

自然を愛し

人を愛し

仕事を愛する

## ◆ 地域貢献活動

### ● クリーン作戦

当社では長岡工場と見附工場において社員親睦会が主催する「クリーン作戦」を実施しています。社員とその家族が地域へ日頃の感謝の気持ちを込めて、工場周辺を美化する目的でゴミ拾いや草刈りを行う活動です。

2018年度は天候に恵まれず、春の計画は中止になってしまいましたが、秋の開催では沢山の子供たちも参加し一生懸命に作業を行っていました。この活動は個人個人の環境美化に対する意識の向上にも繋がっています。



▲長岡工場の参加者



▲見附工場周辺の草刈り風景



▲見附工場の参加者

### ● イルミネーション

長岡工場では毎年クリスマスの時期にあわせて社員がデザインから装飾までを行い、イルミネーションを点灯させています。

2018年は毎年恒例の大きなツリー、トンネル、当社製品である心拍センサのキャラクターに加え、長岡花火の三尺玉を新設しました。点灯期間中は、暖かい室内からもイルミネーションを楽しんでいただけるようにお茶とお菓子をご用意しショールームを一般に開放いたしました。

また、2018年は社員とゆにおんの杜 南陽保育園の子供たちとともにイルミネーションの点灯式を行い、笑顔溢れるイベントとなりました。

社員を癒す目的で1995年から始めたこのイルミネーションは2018年で24回目を迎え、一般の方々からも、暖かいお手紙やメッセージを頂くこともあります。装飾には環境に配慮しLED（約35,000個）を使用しています。



▲ イルミネーションの全景



▲ 点灯式の参加者

## ◆ 地域貢献活動

### ● わくわく体験塾

見附工場では、見附市と協力し夏休み中の小学生向けに「わくわく体験塾」を開催しました。見附市は学校や学年・学級の枠を超えた交流を通じ、お互いに協力し相手を思いやる心を育むとともに児童生徒の健全育成を図ることを目的として活動しており、見附工場もこの活動に賛同しております。

エンドミル製造工程の見学と当社の独自コーティング膜の硬さに悪戦苦闘しながらコーティング膜を金やすりで削る体験、そしてオリジナルキーホルダー作りに挑戦し楽しいひと時を過ごして頂きました。毎年、わくわく体験塾での子供たちの好奇心には私たち社員も刺激を受けています。

ユニオンツールはこれからも子供たちに当社の技術を楽しく紹介していきます。



▲ コーティングの硬さ比べ体験



▲ 完成したキーホルダーの展示会

### ● 仲道郁代氏ピアノリサイタル

当社は企業における文化芸術振興活動支援（メセナ事業）の一環として、当社がオフィシャルスポンサーを務めるピアニスト仲道郁代氏を招き、ピアノコンサートを開催しております。

当社が主力工場を置く新潟県長岡市では、2002年から毎年定期的で開催しており、2018年で21回目を迎えました。2018年はショパンの楽曲を中心とした魅力あふれる演奏をお届けしました。

また、当社はNHK交響楽団・東京フィルハーモニー交響楽団・新日本フィルハーモニー交響楽団の賛助会員として団体の音楽活動を応援させて頂いております。

仲道郁代オフィシャルHP：<http://www.ikuyo-nakamichi.com/>

長岡リリックホールHP：<http://www.nagaoka-caf.or.jp/>



▲リサイタルポスター

## ◆ 地域貢献活動

### ● 学術支援活動

#### 公益財団法人

## ユニオンツール育英奨学会

当社の主力工場である長岡工場を置く新潟県において 2002 年に育英奨学会が設立されました。奨学金は新潟県内の理工系大学等に在学中の学生を対象に、成績優秀であるが経済的理由で学業を続けることが困難である学生に対して育英奨学金を支給し、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的としており、会社としてその事業運営に協力しています。

また、県内の理工科系大学院等の研究室を対象に先端技術の研究費を助成することによって科学技術の振興を図り、産業発展に寄与することを目的として科学技術研究費助成金制度にも協力しています。

※なお、この活動は「公益財団法人ユニオンツール育英奨学会」の運営で行っています。

## ◆ 今後の取り組み

2019 年度の目的・目標のうち、省エネルギー化については各工場において 2014 年度をベースとし、中長期の目標を定め、5 ヶ年で 5% の単位生産電力（エネルギー）使用量削減を継続的な目標とし取り組みます。

リサイクル化については取り組みの定着に伴い、維持管理項目として引き続き進捗の確認及び適宜対応を行います。

省資源化の課題については、工具の長寿命・高効率化をさらに進め、お客さまの求める品質を追及し、同時に環境へも配慮した製品の開発を積極的に進めてまいります。

### 2019 年度の取り組み

項目	推進内容	2019 年度目標
省エネルギー化	2019 年度までに単位生産エネルギー使用量（※1）を 2014 年度比 5% 改善	2018 年度エネルギー使用量の 1% 相当を改善により削減
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	ドリルケース回収量の調査及び管理
	エンドミルケース再使用の推進	エンドミルケース回収量の調査及び管理
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 3 件
		工具用コーティング技術の開発 2 件

※1：「単位生産エネルギー使用量 (kL/千本)」 = 「原油換算エネルギー使用量 (kL)」 ÷ 「切削工具の生産本数 (千本)」

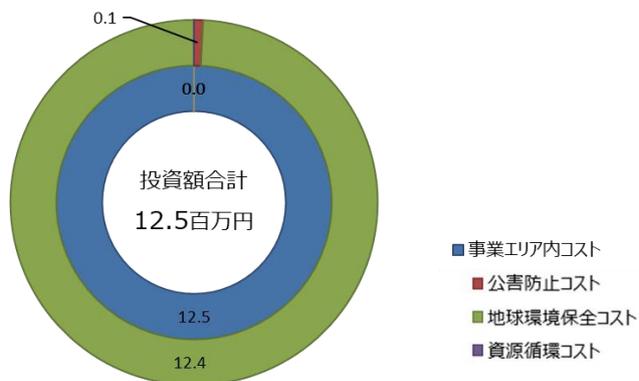
## ◆ 環境会計

2018年度 環境会計集計結果

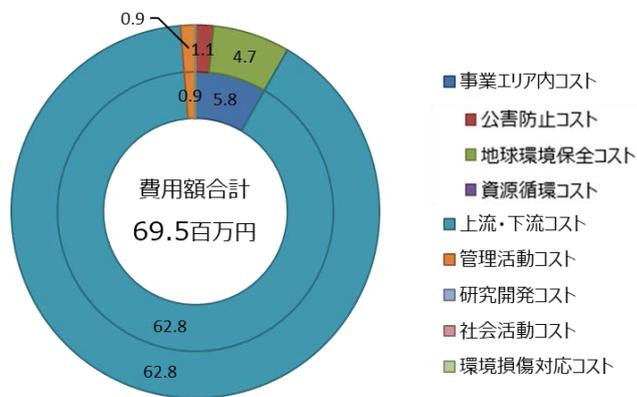
- ・対象範囲：ユニオンツール株式会社 長岡工場・見附工場
- ・対象期間：2018年度（2018年1月～2018年12月）

□環境保全コスト（単位：百万円）

①投資額における各コストの割合



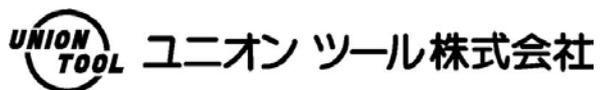
②費用額における各コストの割合



※投資額の減価償却の方法は、投資の効果が発現する期間を算定することが困難であるため、投資年度に全額償却することとしています。（また、自社製設備導入の際の一部部品購入等に関する投資額は計上しておりません。）

□環境保全対策に伴う経済効果（単位：百万円）

項目	金額	主な取り組み内容及びその効果
収益	120.3	リサイクルに伴う有価物の売却益等
費用削減	14.5	ドリルケース再利用による新品購入費の削減等
合計	134.9	



**【本社】**

〒140-0013  
東京都品川区南大井 6-17-1  
TEL 03 (5493) 1001  
FAX 03 (5493) 1002

環境報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

**【長岡工場】**

〒940-1104  
新潟県長岡市撰田屋町字外川 2706-6  
TEL 0258 (22) 2620  
FAX 0258 (22) 0045  
長岡総務課 担当：米山  
E-Mail yoneyamao@uniontool.co.jp

発行年月            2019年6月  
次回発行予定      2020年6月

※本報告書は2018年度（2018年1月～2018年12月）のデータを中心にまとめています。

※一部のデータに関して、長岡工場及び見附工場の値が合算されているものがあります。

また最新情報の提供のため、一部の内容に関しては、2018年12月以降のものも含まれている場合があります。